

Jミルクが2022年1月28日に公表した「需給見通し(※2021年12月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。

「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《コロナの感染拡大で今後の消費動向は不透明～年度末に向けて積極的な需要拡大を～》

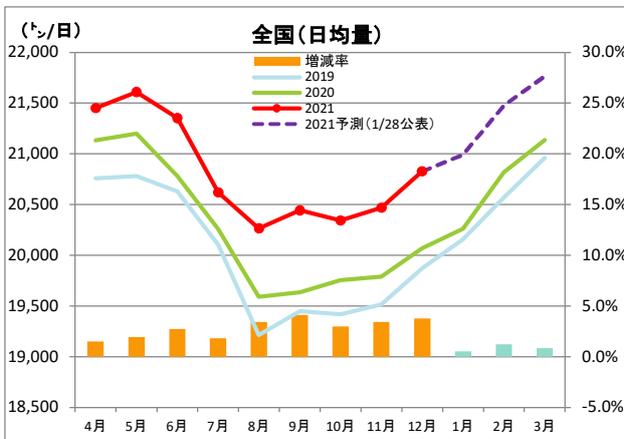
- ・12月の需給実績について、生乳生産は北海道・都府県ともに引き続き前年を大きく増加し堅調な推移、一方飲用需要は前年を下回っており、結果脱脂粉乳・バター等向けの生産量は引き続き増加している。
- ・脱脂粉乳・バターの在庫量については、バターは推定出回りが比較的堅調に推移しているものの在庫量は年度末にかけて一定程度の積み上がりとなる予測となっている。脱脂粉乳は、はっ酵乳、乳飲料の低迷を踏まえると出回りが大きく増加すると見込むことは難しく、年度末にかけて在庫量は大きく積み増す予測となっている。
- ・1月の牛乳販売動向については前年比96.1%(インテージSRI+実績)となり前年を下回っているものの、19年度比(同)では102.4%と上回っている。
- ・直近(2/7週)の牛乳類の家庭内消費については、前年を下回っているものの、19年度比では牛乳類で101.1%、牛乳で104.0%という水準であり、年末年始に向けた需要拡大の取り組み等による好影響が一定程度持続しているものと推察される。
- ・なお、北海道、大阪府など15道府県については、まん延防止等重点措置が延長される見通しであり、東京都など14都県も3月6日までの期間であるため、業務用需要への影響は続くものと考えられる。また、家庭内消費の動向には不透明な点が多く、円安や原油高に起因する物価上昇、特に電力料金や食料品等生活必需品の値上げが相次いでおり、引き続き状況を注視する必要がある。
- ・業界一丸となった取り組みや酪農業界に対する多くの応援により年末年始の処理不可能乳発生が回避できたことから、引き続き年度末に向けて、積極的な需要拡大を図るとともに、乳製品処理の最大化や生産者における取り組みの態勢について備える協議が重要である。

【生乳生産量】※増減率は、日量で算出。

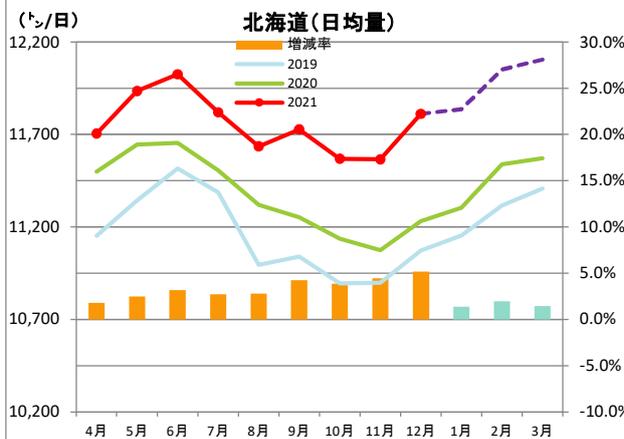
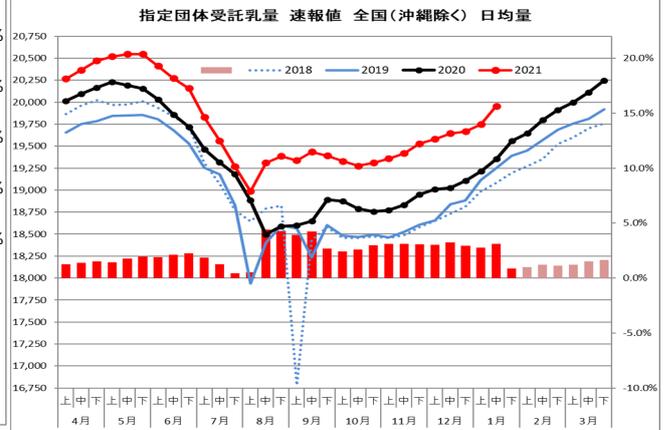
(1) 12月の生乳生産量は、全国646千トン(前年同月比103.8%)、北海道366千トン(同105.2%)、都府県279千トン(同102.0%)。

(2) 2022年度の見込みは、全国(同102.9%)、北海道(同103.7%)、都府県(同102.0%)。

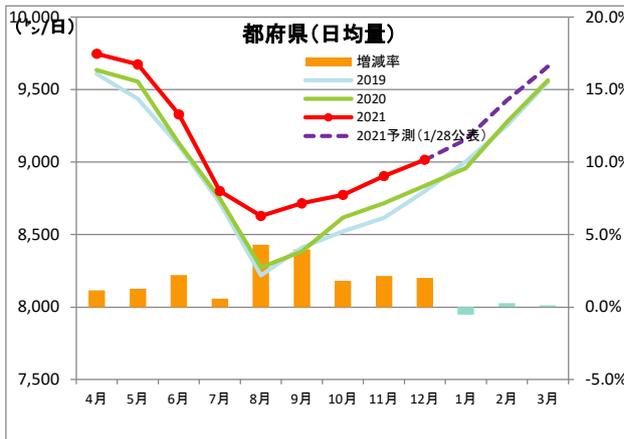
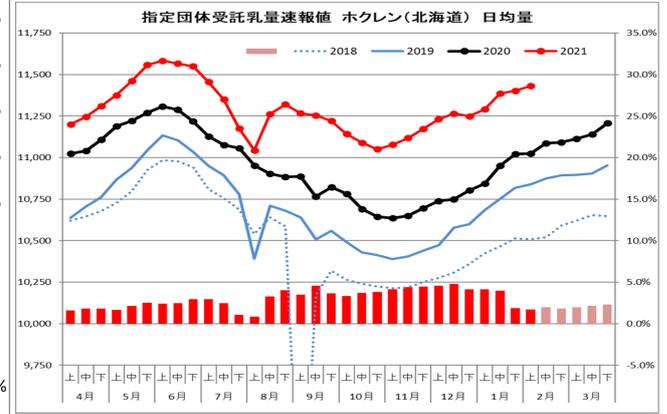
(3) 直近の指定団体速報値によると、全国が同102.5%(1月下旬)、北海道が同103.7%(2月上旬)、都府県(沖縄除く)が同101.2%(1月下旬)。



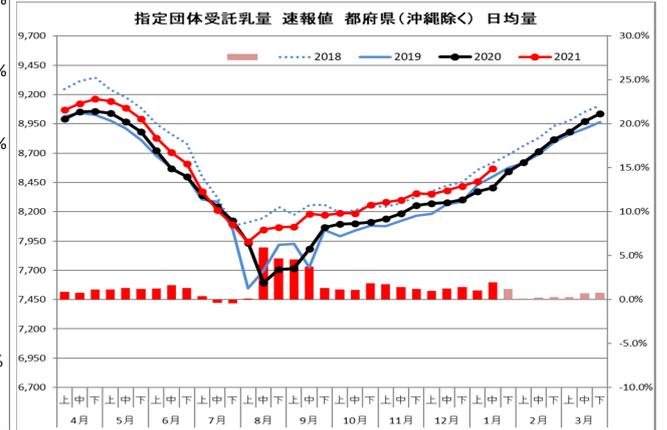
指定団体速報値 全国(沖縄除く)※1月下旬



指定団体速報値 ホクレン※2月上旬

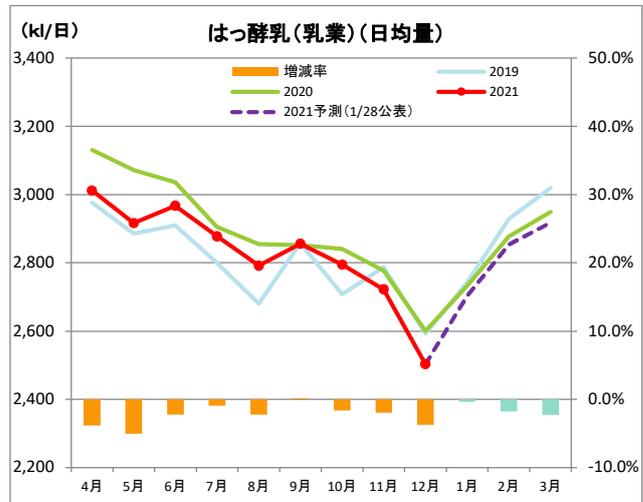
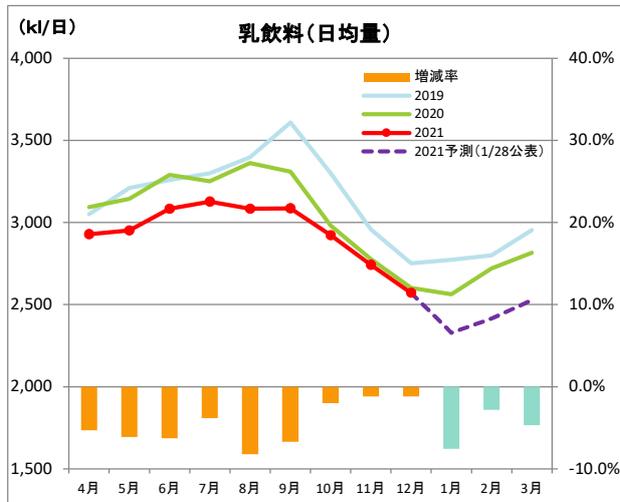
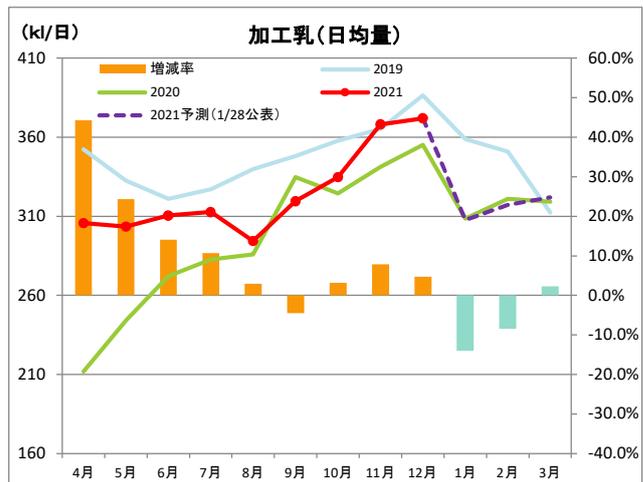
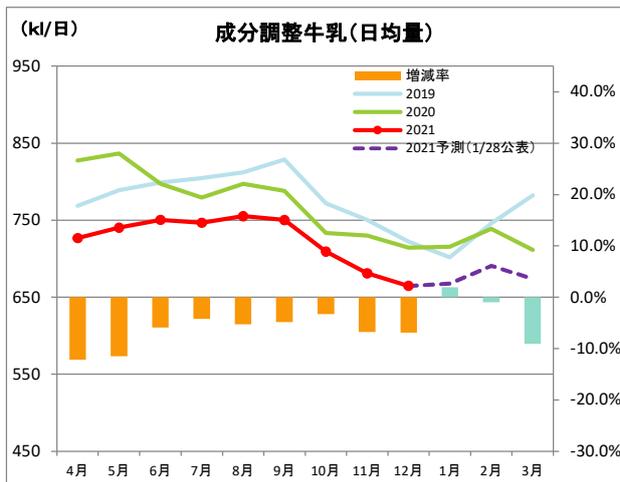
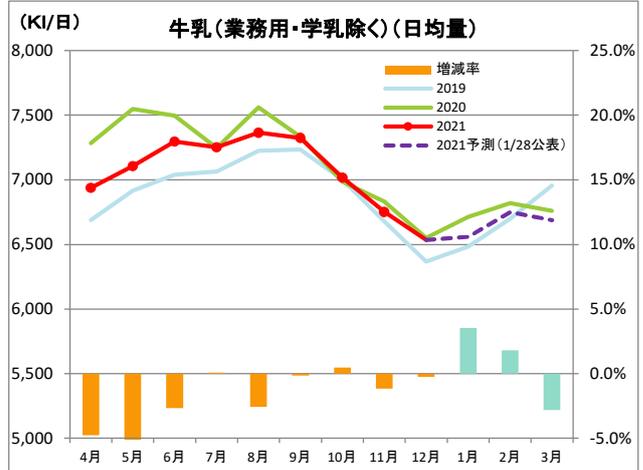
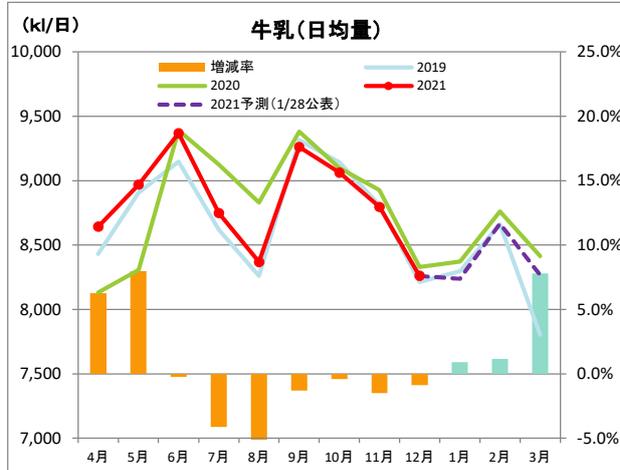


指定団体速報値 都府県(沖縄除く)※1月下旬



【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。

- (1) 12月の牛乳等生産量は、牛乳256千kl(前年同月比99.1%)、成分調整牛乳21千kl(同93.1%)、加工乳12千kl(同104.7%)、乳飲料80千kl(同98.8%)となり、牛乳類合計では368千kl(同98.9%)となった。
- (2) 「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同99.7%、「業務用」は同101.0%。
- (3) はっ酵乳(乳業)は78千kl(同96.3%)と前年を下回って推移している。
- また、非乳業実績(11月)については、同104.1%と前年を上回っている。

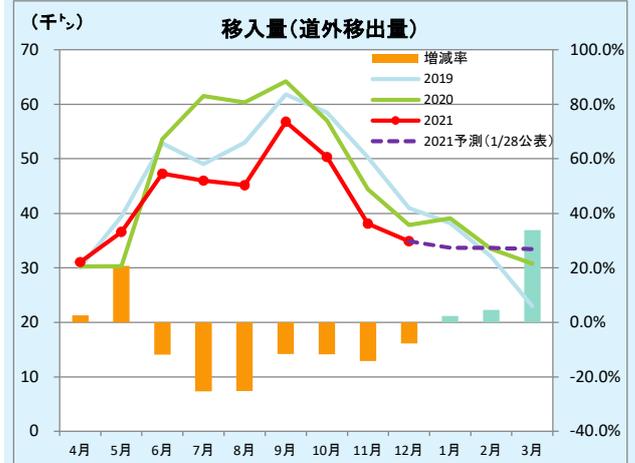
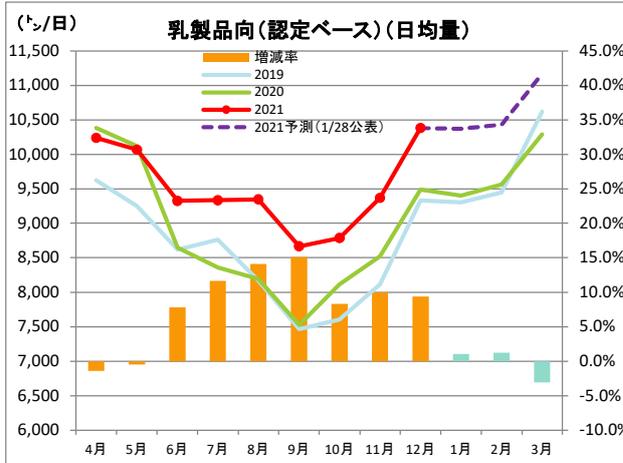
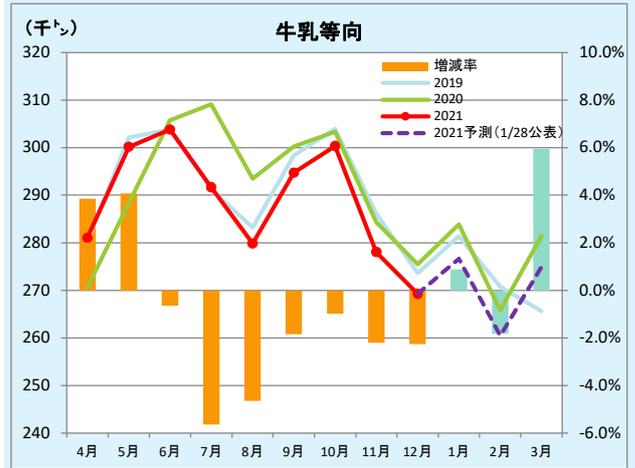
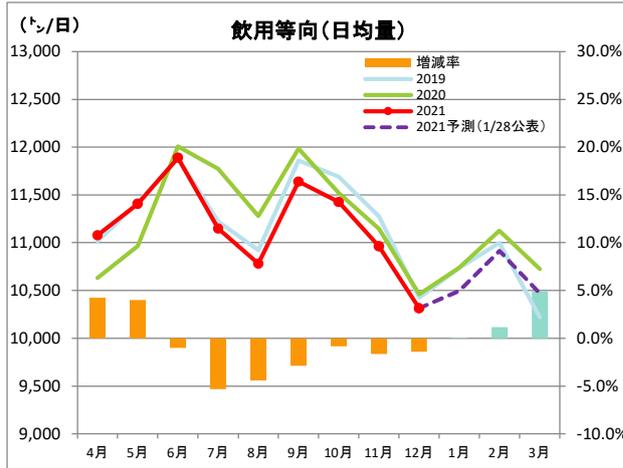
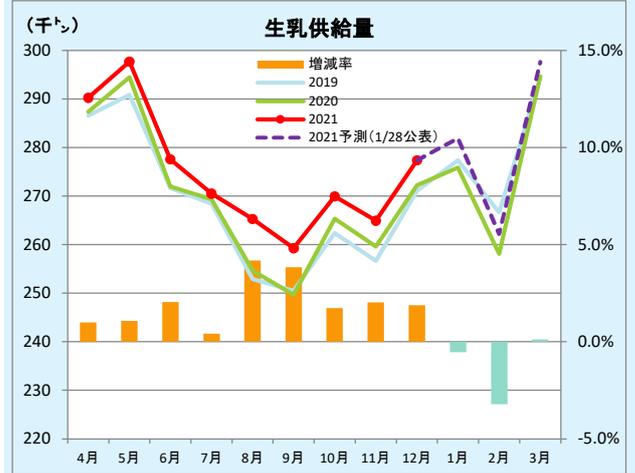
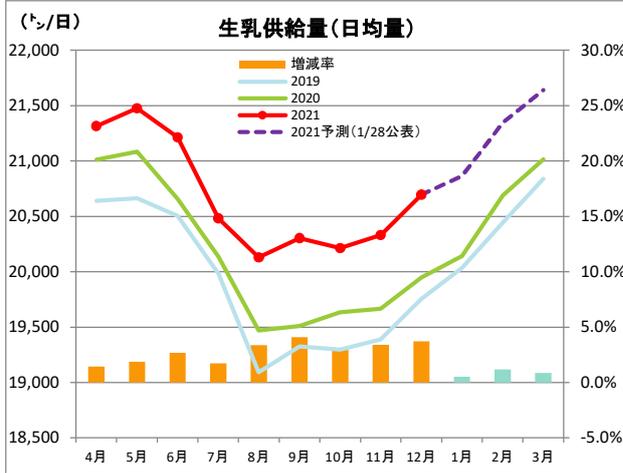


【用途別処理量】※増減率は、日均量で算出。

(1) 12月の生乳供給量は642千ト(前年同月比103.7%)、飲用等向320千ト(同98.6%)、乳製品向(認定ベース)322千ト(同109.4%)。
 (2) 2022年度見込みでは、生乳供給量(前年比102.9%)、飲用等向(同98.6%)、乳製品向(同108.2%)。

【都府県の生乳需給】

(1) 12月は、生乳供給量277千ト(前年同月比101.9%)、牛乳等向269千ト(同97.7%)。
 (2) 北海道からの移入量について、35千ト(同92.2%)と前年を大きく下回った。
 (3) 2022年度見込みでは、生乳供給量(前年比101.9%)、牛乳等向(同98.5%)、北海道からの移入量(同89.7%)。



【脱脂粉乳・バター需給】

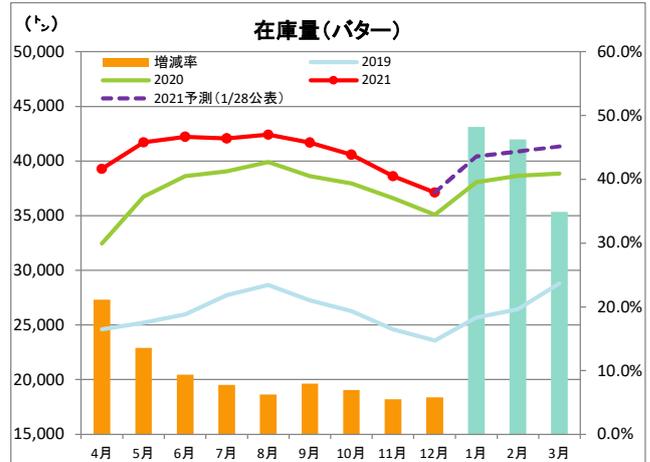
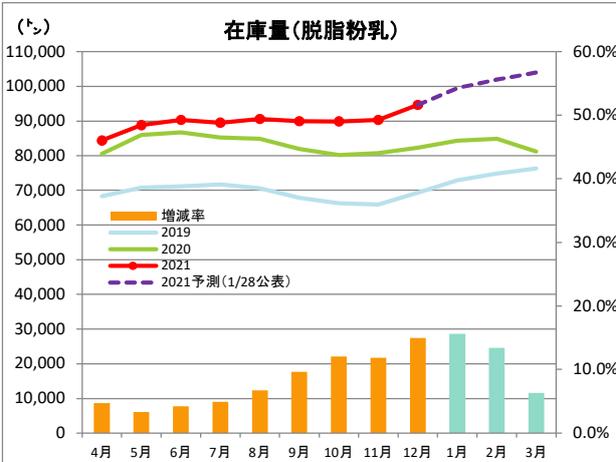
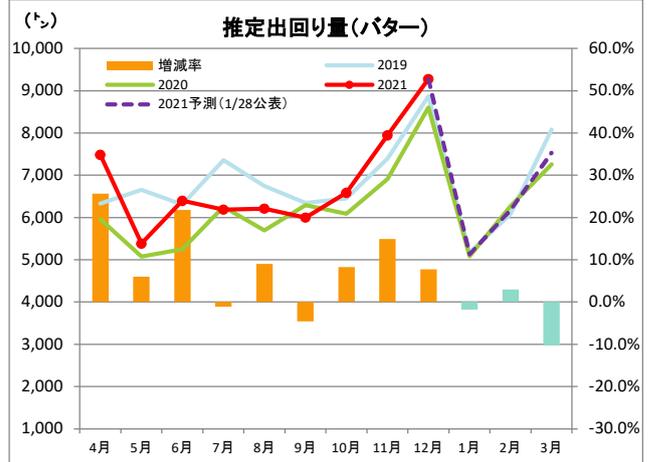
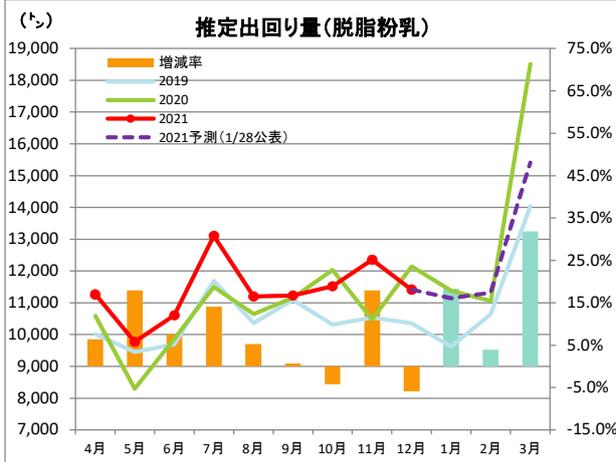
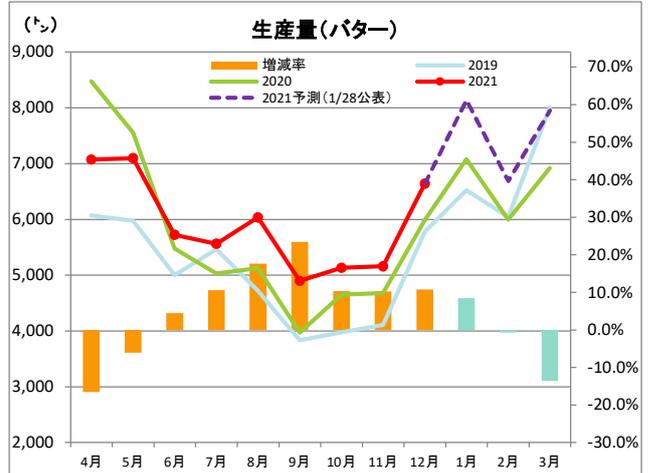
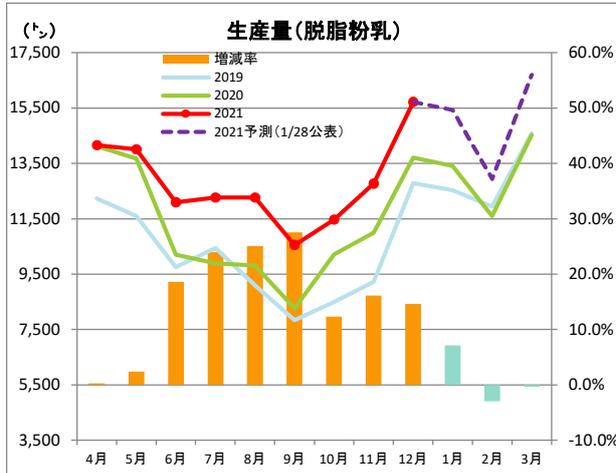
(1) 脱脂粉乳は、12月の生産量は15.7千トン(前年同月比114.6%)、推定出回り量は11.4千トン(同94.1%)、その結果、在庫量は94.6千トン(同115.0%)。生産量の増加、推定出回り量の減少から在庫は前年を大きく上回っている。

なお、2022年度末在庫量は104.0千トンを見込んでいる。

(2) バターは、12月の生産量は6.6千トン(同110.8%)、推定出回り量は9.3千トン(同107.8%)、その結果、在庫量は37.1千トン(同105.8%)。

推定出回り量(≒需要量)は前年を上回って推移している。

なお、2022年度末在庫量は41.3千トンを見込んでいる。



【牛乳類の販売速報(推定値): インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)1月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比96.1%、成分調整牛乳:同95.0%、加工乳:同98.0%、乳飲料:同90.4%。
牛乳類では同94.8%

【参考】2019年度比…牛乳:99.7%、成分調整牛乳:96.9%、加工乳:93.9%、乳飲料:90.4%(牛乳類トータル:95.2%)

・販売単価は、牛乳:190.5円、成分調整牛乳:173.6円、加工乳:191.2円、乳飲料:150.5円。

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(2/7週)の販売個数は、牛乳:前年同期比97.9%、成分調整牛乳:同94.3%、加工乳:同99.0%、乳飲料:同91.3%。
牛乳類トータルでは同96.7%

【参考】2019年度比…牛乳:104.0%、成分調整牛乳:96.2%、加工乳:96.3%、乳飲料:90.5%(牛乳類トータル:101.1%)

・販売単価は、牛乳:189.5円、成分調整牛乳:173.0円、加工乳:189.7円、乳飲料:150.7円。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

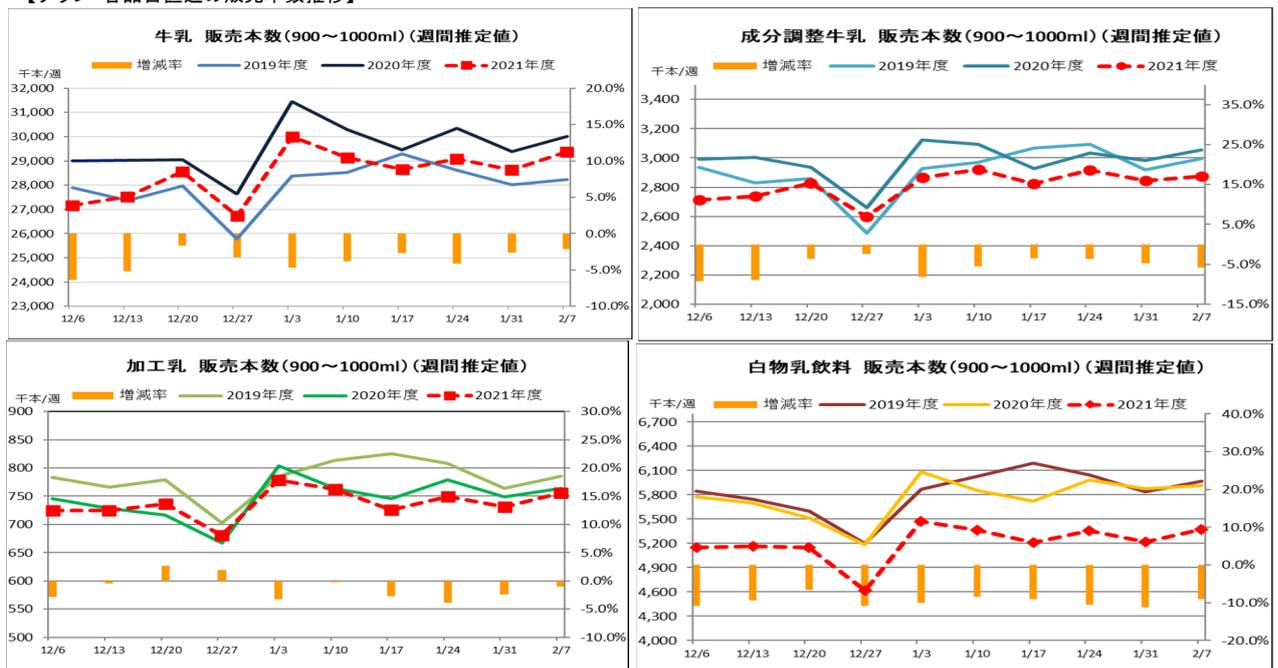
単位:千個、円

| 品目 | 区分 | 2021/9- | 2021/10- | 2021/11- | 2021/12- | 2022/1- |
|--------|---------|---------|----------|----------|----------|---------|
| | | 販売個数 | 179,996 | 174,398 | 158,264 | 164,941 |
| トータル | 販売個数前年比 | 95.9 | 97.1 | 93.1 | 94.8 | 95.2 |
| | 販売単価 | 182.9 | 182.7 | 182.3 | 183.0 | 183.7 |
| 牛乳 | 販売個数 | 136,745 | 132,568 | 120,235 | 126,006 | 124,657 |
| | 販売個数前年比 | 97.7 | 98.0 | 93.8 | 95.7 | 96.1 |
| 成分調整牛乳 | 販売個数 | 13,642 | 13,065 | 11,987 | 12,509 | 12,237 |
| | 販売個数前年比 | 96.4 | 96.2 | 92.2 | 92.8 | 95.0 |
| 加工乳 | 販売個数 | 3,676 | 3,576 | 3,236 | 3,301 | 3,211 |
| | 販売個数前年比 | 94.6 | 102.7 | 99.0 | 100.1 | 98.0 |
| 乳飲料 | 販売個数 | 25,934 | 25,190 | 22,804 | 23,125 | 22,821 |
| | 販売個数前年比 | 87.0 | 92.4 | 89.2 | 90.6 | 90.4 |
| | 販売単価 | 150.4 | 150.0 | 149.9 | 150.9 | 150.5 |

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

| 品目 | 区分 | 12.13- | 12.20- | 12.27- | 1.3- | 1.10- | 1.17- | 1.24- | 1.31- | 2.7- |
|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 販売個数 | 36,140 | 37,281 | 34,634 | 39,112 | 38,190 | 37,405 | 38,117 | 37,414 |
| トータル | 販売個数前年比 | 94.0 | 97.5 | 95.8 | 94.3 | 95.4 | 96.3 | 95.0 | 96.0 | 96.7 |
| | 販売単価 | 182.6 | 183.2 | 184.9 | 184.1 | 183.6 | 183.4 | 183.2 | 183.1 | 182.8 |
| 牛乳 | 販売個数 | 27,516 | 28,563 | 26,732 | 29,996 | 29,141 | 28,649 | 29,093 | 28,620 | 29,383 |
| | 販売個数前年比 | 94.8 | 98.3 | 96.7 | 95.3 | 96.2 | 97.3 | 95.9 | 97.4 | 97.9 |
| 成分調整牛乳 | 販売個数 | 2,737 | 2,828 | 2,600 | 2,866 | 2,923 | 2,822 | 2,919 | 2,844 | 2,882 |
| | 販売個数前年比 | 91.0 | 96.3 | 97.7 | 91.8 | 94.5 | 96.5 | 96.3 | 95.3 | 94.3 |
| 加工乳 | 販売個数 | 725 | 736 | 680 | 778 | 762 | 726 | 749 | 731 | 756 |
| | 販売個数前年比 | 99.6 | 102.7 | 101.9 | 96.7 | 99.8 | 97.3 | 96.1 | 97.6 | 99.0 |
| 乳飲料 | 販売個数 | 5,163 | 5,153 | 4,622 | 5,472 | 5,363 | 5,208 | 5,356 | 5,218 | 5,401 |
| | 販売個数前年比 | 90.5 | 93.4 | 89.1 | 90.0 | 91.6 | 91.0 | 89.5 | 88.8 | 91.3 |
| | 販売単価 | 150.4 | 151.2 | 152.7 | 150.7 | 150.6 | 150.2 | 150.4 | 150.8 | 150.7 |

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の週次動向(表③参照)

直近(2/7週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%未満、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)ドリンクタイプは一昨年比では70%を下回った。

【表③ ヨーグルト類の販売動向】

| 品目 | 12.20- | 12.27- | 1.3- | 1.10- | 1.17- | 1.24- | 1.31- | 2.7- |
|---------|--------|--------|------|-------|-------|-------|-------|------|
| ドリンクタイプ | | | | | | | | |
| 個食タイプ | | | | | | | | |
| 大容量タイプ | | | | | | | | |

: 前年比90%未満

: 前年比105%以上110%未満

: 前年比90%以上100%未満

: 前年比110%以上120%未満

: 前年比100%以上105%未満

: 前年比120%以上

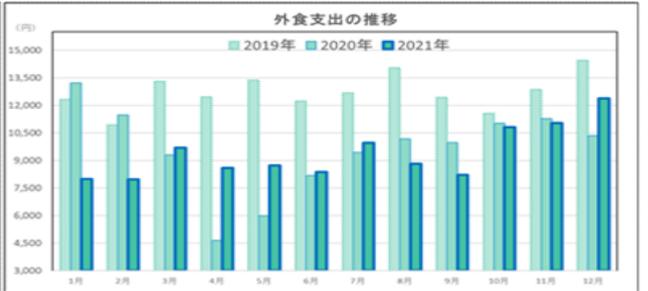
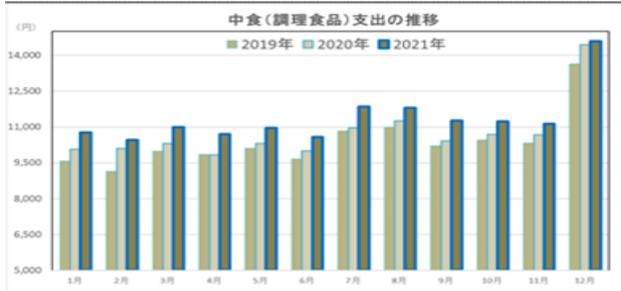
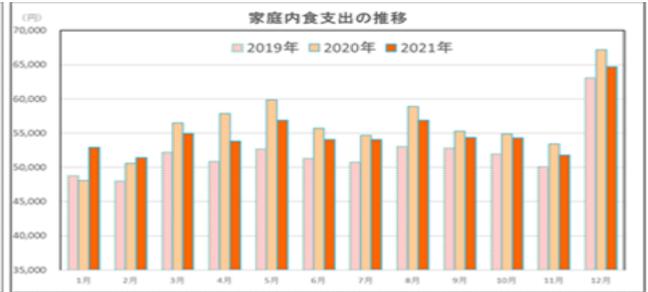
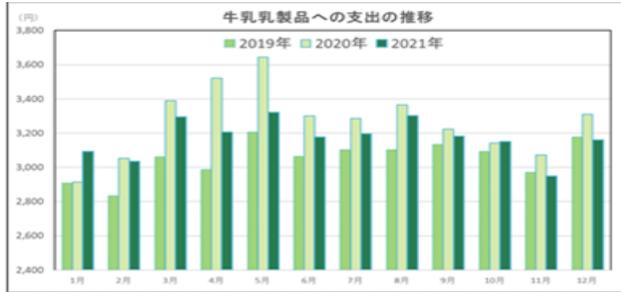
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【家計支出の動向】

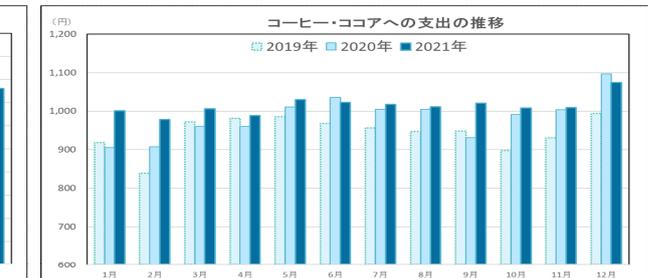
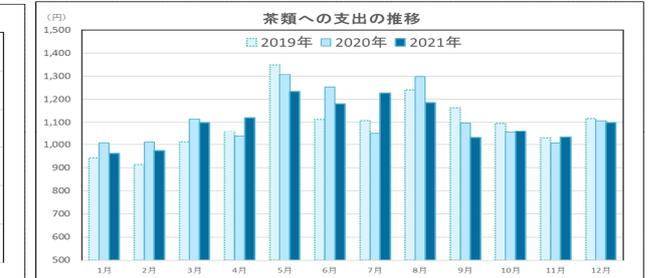
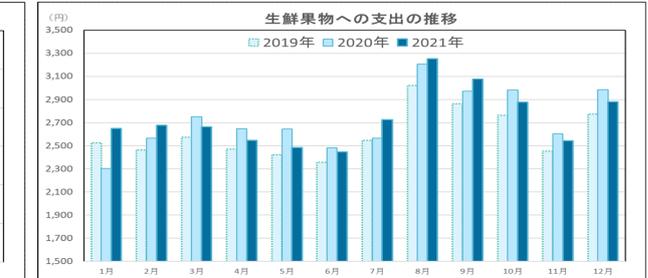
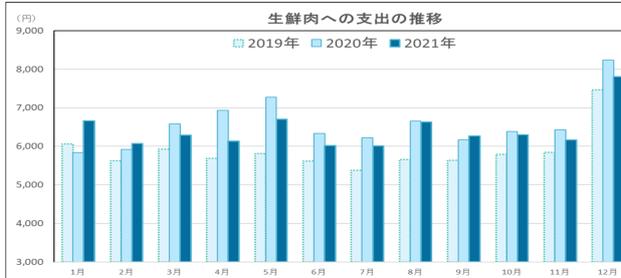
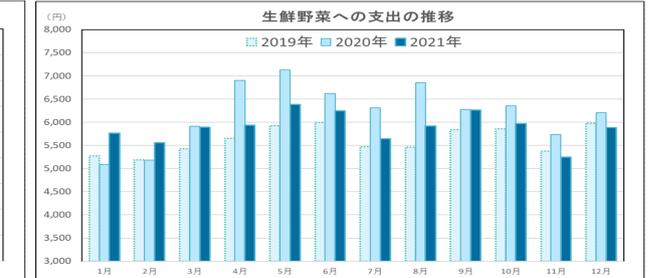
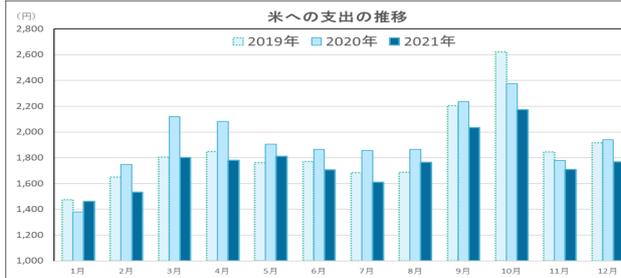
(1)12月の牛乳乳製品の支出額について、11月に続き前年同月を下回った(前年比:95.5%、2019年度比:99.5%)。

(2)外食は5か月ぶりに前年比119.5%と前年を大きく上回って推移した。

※総務省家計調査(家庭内食は、食料-調理食品-外食で独自に算出)



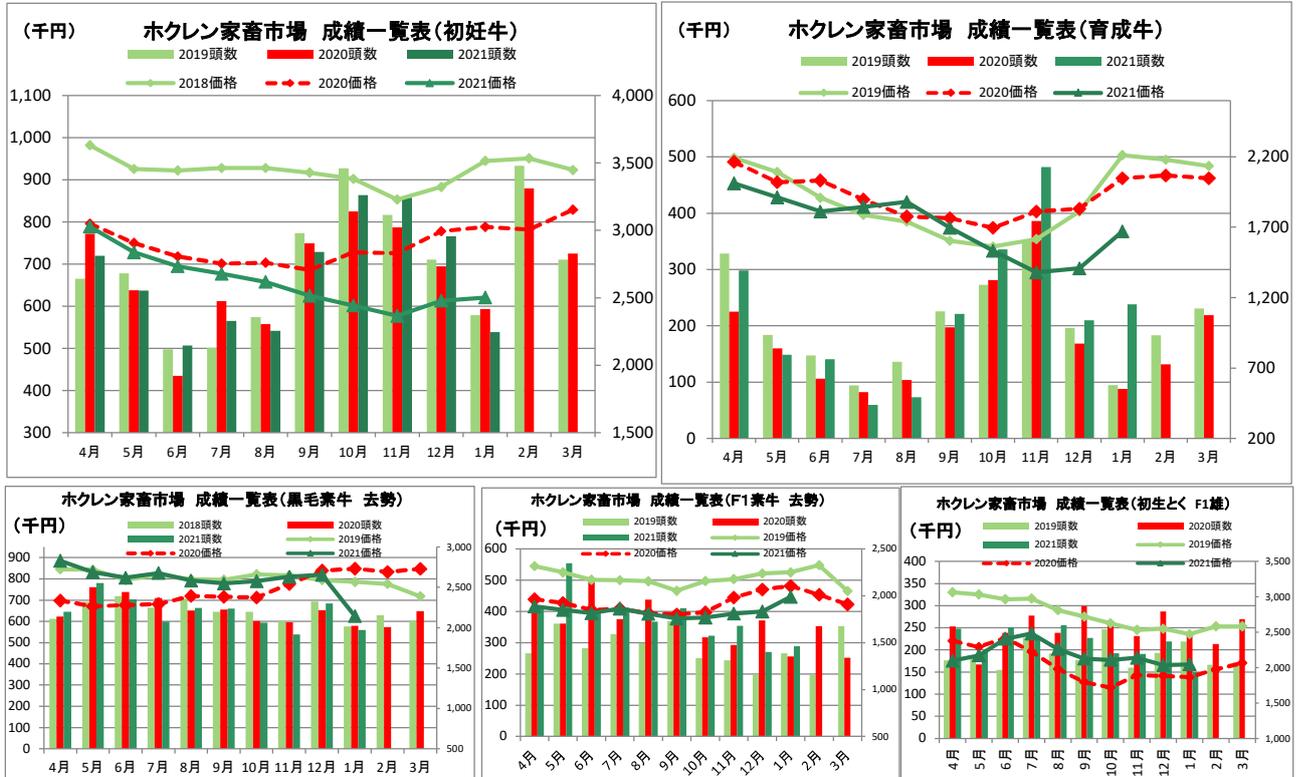
【参考:その他品目支出の動向】



【家畜販売価格動向】

(1)1月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は621千円(前年同期比78.8%)、育成牛価格は368千円(同79.7%)、和牛素牛(去勢)価格は625千円(同73.8%)、F1素牛(去勢)価格は446千円(同92.8%)、F1初生(雄)価格は167千円(同120.7%)。
 (2)上場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同92.9%、育成牛:同208.5%、和牛素牛(去勢):同97.4%、F1素牛(去勢):同108.1%、F1初生(雄):同77.5%。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)



※「2021年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」